

◎基本情報

Table with columns for 事務事業名, 担当部署, 総合計画体系, 根拠法令計画など, 事業期間, 開始, 終了. Includes details for '国際・国内交流推進事業'.

◎事業概要(PLAN)

Table with columns for 事業対象, 事業目標, 事業計画, 成果目標. Includes checkboxes for 個人, 世帯, 団体, etc., and a table for 成果目標 with columns for 指標名, 28年度, 29年度, 30年度, 31年度, 32年度, 単位.

◎実施結果(DO)

Table with columns for 事業実施内容, 事業実施手法, 指標名, 28年度実績, 29年度実績, 30年度目標, 31年度目標, 32年度目標, 単位. Includes details for '親善使節団参加者数' and '使節団への学生の参加者数'.

(千円)

Table with columns for 財源内訳, 年度, 区分, 国, 県, 地方債, その他特定財源, 一般財源, 事業費計. Includes sub-rows for 当初予算額, 補正予算額, 繰越予算額, 全体予算額, 決算額, 繰越額, and 人件費.

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	3,175	4,541	4,837	4,746	4,352
	うち一般財源	3,175	3,541	4,537	4,746	4,352
	人件費	21,399	21,702	21,702	21,702	21,702
	総事業費	24,574	26,243	26,539	26,448	26,054

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		使節団に新規参加された方の割合が増え、また、新規参加者の再参加希望の声が聞かれ、国際交流の機運を高める機会を継続して創出できていることを確認できた。 青少年派遣枠12名に対し、21名の応募があり、鳴門市の国際交流の周知効果、国際的視点を持った青少年の育成の成果を確認できた。
	効率性	B:概ね効率的だった		
②成果に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合リユ市/鳴門市		団員のうち6割以上の人が初めて使節団に参加し、リユネブルク市を訪問。また、初訪問をした市民、青少年は帰国後も引き続き国際交流に対する高い意識を持ち、親善交流に積極的に取り組んでいる。
	目標	60	%	
	実績	66	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		使節団の新規参加者の割合や、青少年の派遣希望者数は増加しており、世代を超えた国際交流の定着化を進めることができた。また、張家界市との交流も促進されている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流においては、これまで第一線で交流に参加していた市民の高齢化が懸念される。現役で働く世代にも参加しやすいよう、日程や旅行費用などを考えなおしていく必要がある。また、未来の国際交流を担う青少年の派遣希望者も増加傾向であるため、12名の派遣枠を若干名増やすことも考える必要がある。 中国友好都市との交流については、今後、広く市民を巻き込んだ友好交流促進への取組が必要である。 				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	第22回リユネブルク市親善使節団を迎え、鳴門市民との交流を深める。青少年参加者については、市内の中学校・高校での授業参加や同学校に通う生徒宅でホームステイを行い、未永い交流の友情を築く機会を創出する。 張家界市が市制施行30周年を迎えることから、訪問団を結成し相互交流を深める。			
	H31年度	第23回鳴門市親善使節団を派遣し、リユネブルク市民との交流を深める。青少年の派遣を継続して行うとともに、現役で働く世代(20代~50代)にも参加しやすいツアーになるよう検討する。 張家界市との友好交流については、引き続き情報発信等を行うとともに、様々な分野において交流が図れるよう検討を行う。			